



いばらき県議会だより

No.231

〈県議会HP〉
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>
 本会議および予算特別
 委員会を生中継および
 録画中継しています



〈いばキラTV〉
<https://ibakira.tv>
 本会議および予算特別
 委員会を生中継および
 録画中継しています



〈県議会公式X〉
https://x.com/ibarakiken_gikai



〈県公式LINE〉
<https://lin.ee/6xV7ZlQ>



発行：茨城県議会
 編集：県議会情報委員会
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6
 Tel.029-301-5646 [年4回発行]
 ※音声版・点字版の県議会だよりも
 作成しています



アクアワールド茨城県大洗水族館(大洗町)



「チームラボ 幽谷隠田跡」五浦, 茨城 © チームラボ
 (北茨城市)



雨引観音(桜川市)

さあ、いばらきを旅しよう。

一般料理
部門
グランプリ

シン・ご当地グルメの
誕生!!

シン・茨城あげそば
〜パリッ!カリッ!
5つの味変シン食感〜
(五霞町)

スイーツ
部門
グランプリ

ダイヤモンドブラン
(小美玉市)

詳しくは
こちらから

第1回定例会の概要

令和7年第1回定例会は、2月26日から3月24日まで27日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例の一部を改正する条例、茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例など、知事から、令和7年度茨城県一般会計予算などが提出されました。

代表質問は、知事が描く茨城の将来像と3選出馬、水戸保健医療圏の病院再編の方向性、県政運営の基本方針などの項目について行われました。(2～3面)

一般質問は、県南地域の発展とシンボルとなる施設の誘致、日本政府の核兵器禁止条約締結国会議のオブザーバー参加に対する知事の所見などの項目について行われました。(4～6面)

予算特別委員会では、有機農業・気候変動対策推進室における気候変動への適応のための取組、県北振興に向けた誘客促進と地域経済への効果などの質疑を行いました。(7面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、財源確保や財政健全化に向けた取組、インド人材の確保に係る取組、県立中央病院と県立こども病院の統合後の在り方などを議論しました。(8～9面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、意見書などの88件の議案が可決、同意、承認されました。

代表質問※(要旨)

知事が描く茨城の将来像と
3選出馬



小川 一成 議員
いばらき自民党
守谷市選出

議員 これまで取り組んできたさまざまな施策の成果が現れてきたことなどを踏まえ、改めて茨城の将来像をどう描いているのか。また、将来像実現のため3選出馬をどう考えているのか。

知事 加速度的に進む人口減少時代にあっても、輝かしい未来をつかみ取るため、茨城の将来像として誰もが能力と意欲に応じて活躍し、世界に飛躍する本県の新たな将来を見据えながら、県民が一体となって挑戦を続けることにより、豊かで経済力があり、安心安全に暮らしている社会の構築を思い描いている。

3選出馬については、質問いただいたことを重く受け止めているが、今は目の前にある人口減少や物価高など山積する課題に全力で取り組んでいく。

つくばエクスプレスの延伸

議員 TX 東京延伸の実現に向けて県としてどう取り組むのか。また、土浦延伸に向けてどのような検討をしているのか。

知事 東京延伸は、昨年12月、沿線市区による期成同盟会が立ち上げられ、県も積極的に参加する旨を伝えた。今後、同盟会と連携し、さらなる気運の向上を図りながら、要望活動や関係者への働き掛けを行う。

土浦延伸は、県において2月に事業計画素案を公表したところであり、今後、東京延伸と一体的な実現に向け、次期交通政策審議会答申に位置付けられるよう関係者と調整を進めていく。

かみね動物園への
パンダ誘致の取組

議員 パンダの生息する陝西省と友好都市関係を早期に構築することがパンダ誘致を実現するために非常に有効と考える。誘致活動をどう進めていくのか。

知事 昨年10月に中国を訪問し、県のパンダ誘致の優位性をアピールし、高い評価を頂いた。

不妊治療への今後の取組

議員 不妊治療に取り組まれる方のさらなる経済的な負担軽減を図るため、県として助成制度を創設することが望まれている。今後、どう支援を行うのか。

知事 保険診療により不妊治療を行っている方の約4割が全額自己負担となる先進医療を併用しているといったデータもあり、不妊治療費に対するさらなる支援の充実が必要と考えている。このため、来年度から新たな取り組みとして、先進医療に係る費用の一部を助成する予算案を今定例会に提案した。

本年10月には第18回日中友好交流会議が本県で開催されることから、この機会を好機と捉え、今後、陝西省へ訪問し、例えば、友好提携都市としての関係構築を視野に入れた協議を行うとともに、官民一体となった機運醸成活動や関係者への要望活動を展開していくことで、パンダ誘致を強力に推し進めていく。

● 質問者

3月3日(月)

小川 一成
いばらき自民党

3月4日(火)

高崎 公進
国民民主党

齋藤 英彰
国民民主党



こちらから録画映像でご覧になれます。▶

https://ibaraki-pref.stream.jfpt.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=171



東京延伸や土浦延伸の実現に期待がかかるつくばエクスプレス

選挙を巡るSNSの活用

議員 SNSが政治の動向に大きな影響を与えるようになった今、有権者に判断材料が正しく提供されなければならぬ。真偽不明の情報や誹謗中傷の拡散が問題となる中で、いかなる対策を講じていくのか。

県議会を傍聴しませんか

県議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。

県民の皆さまにより選出された県議会議員がどのようなことを審議しているのか、目の前でご覧いただける身近な機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。

なお、本会議の傍聴を希望される方は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できます。

その他、団体での傍聴や常任委員会の傍聴などの詳細については、県議会事務局議事課までお問い合わせください。



令和6年度議会広報ポスター図案公募 入選作品
県立下館第一高等学校生徒制作

〈児童や乳幼児をお連れでの傍聴について〉

- ・親子席を用意しております。
- ・授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には、部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽にお声掛けください。
- ・県庁内保育所や議事堂近隣の民間保育所での託児サービスも行っております(託児サービスのご利用には、事前申し込みなどが必要です)。

お問い合わせ先

(傍聴に関すること) 議会事務局議事課 電話029・301・5634

※県議会の傍聴の詳細は議会ホームページをご確認ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/sanka/boutyou1.htm>

(託児サービスに関すること) 議会事務局総務課 電話029・301・5613

※託児サービスの詳細は議会ホームページをご確認ください。



選管委員長 公職選挙法に関し、SNSでの収益目的の選挙運動や偽情報の拡散などに対して、必要な措置を講じる旨を附則に明記する改正案が今国会で審議中であることなどから、こうした国の動きを注視している。

今後は、選挙におけるSNS活用時の注意点などについて、

具体的事例を明示しながら、あらゆる機会を捉え、広く注意喚起し、時代に即した選挙に関するリテラシー向上に努めていく。(ほかに、水戸保健医療圏の医療提供体制、悠仁親王殿下の筑波大学進学なども質問)

代表質問(要旨)



高崎 進 議員
公明党
水戸市・城里町選出

水戸保健医療圏の病院再編の方向性

議員 「県立中央病院」「県立こども病院」が統合し、水戸IC周辺に新設されることが公表された。小児医療の最後のとりでとしての役割を担うこども病院の診療機能の維持と充実が必要であると考えるが、所見は。

知事 こども病院は県央・県北地域の小児医療を支える重要な役割を果たしている。このため、新たな県立病院では、主な医療機能の一つとして小児医療を掲げ、子どもの命を守る高度かつ専門的な医療の提供を目指す。

健やかな妊娠・出産へ向けた支援

議員 少子化対策として、子どもを望む夫婦への早期健診の体制と健診しやすい環境（公費助成）を整えることが重要である。健やかな妊娠・出産に向けた取り組みは。

知事 早期健診について、受診できる医療機関の情報を県のポータルサイトへ掲載するほか、20歳代前後の方を対象とした出前講座や成人式など、さまざまな機会を捉えて、早期健診の重要性を普及啓発する。健診に対する公費助成については、早期の開始を目指し、関係機関と実施に向けて検討を進めていく。

大規模災害に備えた住宅の防災・減災対策の取組

議員 地震時の火災防止への取



県立こども病院（水戸市）

り組みは大変重要である。県地域防災計画に地震ブレーカー※1の普及促進を位置付けるとともに、この普及促進を加速化させてもらいたい。その設置を促すため、補助制度の創設も必要であると考えるが、所見は。

知事 地震ブレーカーの認知度向上のため、3月下旬に県地域防災計画に盛り込み、市町村や関係団体と連携して、その有効性を広く周知することで、住宅火災防止を推進していく。

誰もが希望を持って暮らせる認知症への取組

議員 国の基本計画のポイントでは、共生社会の実現を目指す上で重要となる「新しい認知症観※2」を打ち出している点であるが、その実現には認知症の正しい理解が欠かせない。県において地域の実情に即した計画の策定が必要と考えるが、所見は。

知事 今後は「新しい認知症観」に立って、認知症の人や家族の意見を反映するとともに、地域の実情も踏まえながら、既存の計画を見直し、本県の認知症施策推進計画を策定していく。（ほかに、持続可能な水田農業の取組、教員の確保と定着率向上に向けた取組なども質問）



齋藤 英彰 議員
国民民主党
日立市選出

県政運営の基本方針

議員 激動する時代の最中にあっても、状況に応じた適時適切な政策を打ち出し、人口減少の荒波を克服していかなければならない。そうした中、これからの県政運営に向けた基本方針をどのように考えているのか。

知事 人口減少時代でも輝かしい未来をつかみ取るには、豊かで経済力があり、安心安全に暮らせる社会の構築が重要である。物価上昇を上回る賃上げを加速させるとともに、深刻な人手不足に対応するため、外国人材の確保策などにも取り組んでいく。

県北振興を見据えた共創プロジェクトの推進

議員 デジタル技術の活用により、日立市全体の活性化などを目指す、共創プロジェクトが始動している。県北振興への可能性を見据え、プロジェクトの推進に向けて、県としてどのような取り組みでいくのか。

知事 プロジェクトをより強力に推進するための支援などに係る予算案を提案させていただいた。早期に目に見える成果を積み上げていくことができるよう、まずはモデル的な取り組みのスタートアップをしっかりと支援し、推進を加速化していく。

県北地域の医療体制整備

議員 日立総合病院は県北地域

の中核病院として、地域医療体制の確保に大きな貢献をしている。同病院への支援を念頭に、県北地域の医療体制整備にどのような取り組みでいくのか。

知事 日立総合病院をはじめ、救急・周産期・小児などの政策医療を担う医療機関に対して運営費や施設などの補助を行うとともに、新たに設定した県央・県北医療提供圏域の枠組みの中で県民が安心して適切な医療を受けられる体制を整備していく。

学校現場における教員の負担軽減

議員 全県的に広く教員の負担軽減を図るため、部活動の地域移行に向けたさらなるバックアップを求めている。また、専科指導教員の配置拡充も重要と考えるが、教員の負担軽減に向けてどのように取り組んでいくのか。

教育長 引き続き市町村と連携を図りながら、県内全ての地域で部活動の地域移行が進むよう取り組んでいく。また、小学校高学年を中心に配置を推進してきた専科指導教員については、令和7年度からは小学4年生にも配置を拡充していく。（ほかに、新産業廃棄物最終処分場の整備、地域防災力の強化なども質問）



県北地域で中核病院としての役割を担う日立総合病院（日立総合病院提供）

議員提案により「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例の一部を改正する条例」が制定されました

第1回定例会で、「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例の一部を改正する条例」が可決・成立し、令和7年3月27日から施行されています。

「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」は、平成22年9月に制定されましたが、条例の制定から14年が経過し、この間、「歯と口腔の健康が、県民の心身の健康に影響を及ぼし、健康で質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たすこと」を示す科学的根拠が蓄積されとともに、「県民の生涯にわたる健康の保持増進、健康寿命の延伸および健康格差の縮小」とのつながりが重要視されてきていることから、今回、いばらき自民党議員が条例の一部改正を提案したものです。

改正条例の主な内容は次のとおりです。

○フッ化物応用によるむし歯予防対策として、就学前施設のみならず小・中学校でのフッ化物洗口の実施を強力に推進する旨を規定

○歯周病の予防については、幼児期・学齢期から、妊産婦期を含む成人期・高齢期まで、生涯を通じた対策が必要であることから、ライフステージごとに、それぞれ必要な対策を規定

○オーラルフレイルは、早期に対応することで、心身の衰えの進行を抑制することが可能となることから、その対策に関する規定を追加

その他、災害時における歯と口腔の保健医療サービスの提供体制の確保、スポーツによる歯と口腔の外傷の防止などに係る情報提供および啓発、周術期※3にある者などへの歯と口腔の保健医療サービスに係る情報提供および啓発に関する規定を追加しました。

また、歯科医療を受けることに配慮が必要な者の歯と口腔の健康づくり、喫煙などの歯周病への影響に係る情報提供および啓発に関する規定を改正しました。本県の議員提案政策条例は、この条例で29件目になります。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。



戸井田和之議員



飯田智男議員

※条例の全文や概要などは議会ホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/index.htm#29>



一般質問(要旨)

●質問者

3月5日(水)

坂本 隆司
(いばらき自民党)

3月7日(金)

木村 喜一
(いばらき自民党)

八島 功男
(公明党)

うの のぶこ
(市民ネットワーク)

大足 光司
(国民民主党)

金子 敏明
(無所属)

3月6日(木)

松田 千春
(いばらき自民党)

3月10日(月)

設楽 詠美子
(立憲いばらき)

長田 麻美
(日本維新の会)

江尻 加那
(日本共産党)

高橋 勝則
(いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=171



八島 功男 議員
公明党 土浦市選出

日本政府の核兵器禁止条約締結国会議のオブザーバー参加に対する知事の所見

議員 「被爆80年」でもある「戦後80年」の本年に、唯一の戦争被爆国である日本が、「核なき世界」の実現のための国際協力体制の構築などに向け、同会議にオブザーバーとして参加することに意義があると考えるが、所見は。

議員 予期せず始まる「育児と介護の同時進行」のダブルケアは、大きな課題である。改定予定の「茨城県ケアラー支援推進計画」に落とし込み、重層的支援体制の整備などが必要だと考えるが、所見は。

福祉部長 市町村における重層的支援体制への移行を促進しつつ、まずはダブルケアの実態を把握するための調査を行っていく。

(ほかに、物価上昇を上回る賃上げの実現のための価格転嫁の実現への取組、T

X土浦延伸構

想フェーズ2

の推進なども

質問)



病気の家族を介護しながら子育てもする方



松田 千春 議員
いばらき自民党 潮来市・行方市選出

なめがた地域総合病院への復活による行方・潮来市旧行方郡の医療過疎からの脱却

議員 土浦協同病院なめがた地域医療センターの入院受け入れの休止が最大の要因で、鹿行広域消防の救急搬送時間が、全国42位である県平均の時間から約15分以上も長い。旧行方郡の医療過疎からの脱却に向けた取り組みは。

知事 入院機能を持つ病院への復活は、厚生連※3が中心となり地元

の皆さまと協議していく課題である。休日急患診療所開設を支援するとともに広域的な県南東圏域

の中で高度医療の体制整備を進める。

お米の収量と品質に大きな影響を与えるカメムシ対策

議員 カメムシ被害の斑点米は等級を低下させ、農業者の経営に大きな打撃を与える。薬剤の広域的なドローン散布のための共同防除組織の構築など、重点的な対策を行っていただきたいが、所見は。

農林水産部長 農業共済組合などの共同防除の強化を働き掛けるほか、新たな共同防除組織の設立に向けては防除機械の導入を支援するなど国補事業の活用を促進する。

(ほかに、県内建設業の育成、霞ヶ浦北浦の未利用魚の回収制度の拡充と利用拡大なども質問)



カメムシ被害による斑点米



坂本 隆司 議員
いばらき自民党 龍ヶ崎市・利根町選出

県南地域の発展とシンボルとなる施設の誘致

議員 本県を活気あふれた県にするためには、県南地域のさらなる飛躍が必要である。今後の発展に向けた県の考えとシンボルとなる施設誘致についての所見は。

知事 施設誘致は地域のまちづくりを担う市町村が主体的に進めることが基本である。県は、市町村の取り組みを後押ししながら、東京圏との近接性や広域交通ネットワークの利便性を生かして発展するため県南地域の将来像の実現のため全力で取り組んでいく。

部活動から新たなスポーツ・文化芸術活動への移行

議員 子どもたちは時代の変化などにより今までどおりのことが普通に通にできない状況になっている。子どもたちを第一に考えた上で、どのように新たなスポーツ・文化芸術活動の環境を整えていくのか。

教育長 主役は生徒であり今後の部活動改革も生徒を第一に考えて進めなければならないと認識している。関係団体と連携しつつ環境整備にしっかりと取り組んでいく。

(ほかに、

ウナギの養

殖への挑戦、

県道美浦栄

線バイパス

工事の進捗

状況なども

質問)



部活動の様子(野球)



大足 光司 議員
国民民主党 高萩市・北茨城市選出

食による健康づくりの取組

議員 食事は健康づくりの基礎であり、健康的な食事の重要性を県民や外食産業へ啓発することが必要と考える。県の取り組み状況は。

保健医療部長 いばらき美味しおDay※1を定め、学校や県内企業などと連携し、県民の減塩意識の醸成を図るほか、栄養バランスに配慮したレシピの配布、食生活改善推進員などへの研修による地域の食環境整備などを行っている。

引き続き、関係者と連携し、食による健康づくりに取り組んでいく。

常陸牛の振興方策

議員 常陸牛煌をはじめ、常陸牛全体が、和牛を代表するブランドとなるよう、県はどのように振興を図っていくのか。

農林水産部長 ゲノミック評価※2を活用した生産対策や、メディア露出などにより、常陸牛煌のブランド力向上を目指す。また、本県独自の格付基準を導入し、常陸牛の品質を担保するなど、他にはない特色をアピールしていく。

(ほかに、観

光振興、高萩

市における緊

急輸送道路等

の整備状況な

ども質問)



「常陸牛煌」のブランド発表の様子

県議会モニターからたくさんのご意見を頂きました

茨城県議会では、県民から意見聴取・情報収集などを行い、議会の活動や広報に反映させることを目的に、令和3年11月から「県議会モニター制度」を実施しています。

令和6年度は9名の方をモニターとして委嘱し、議会活動と議会広報について意見調査を行いました。

議会活動では、令和6年第1回定例会の中継や議事録などをご覧いただいた上で、「分割質問の方が分かりやすい」、「ホームページの議事録を理解しやすくなるための工夫をして欲しい」などのご意見を頂きました。

また、議会広報では、県議会だよりについて「文字が小さく細いため見づらい」、ホームページについて「メニュー項目が多く、目的の情報にたどり着くまでに時間がかかる」などのご意見を頂きました。

頂いたご意見を踏まえて、ホームページの議事録検索画面に議会で使用した資料へのリンクを掲載するなどの改善を行いました。

令和7年度も14名の方をモニターとして委嘱し、ご意見を頂く予定です。

引き続き、モニターの方のご意見を参考に、改善できるものは改善し、より開かれた県議会を目指してまいります。

ことば

※2【ゲノミック評価】…ゲノム（遺伝情報）を解析し、血統情報などと組み合わせ、牛一頭一頭の将来的な能力を評価する技術で、従来の手法と異なり子牛のうちに能力把握ができる。

※3【厚生連】…土浦協同病院なめがた地域医療センターの経営主体である茨城県厚生農業協同組合連合会。

一般質問(要旨)

高齢者の仕事の確保と 見守り体制の強化



議員 設楽 詠美子
立憲 いばらき
筑西市選出

議員 単身高齢世帯の増加を踏まえ、市町村などと連携の上、高齢者の仕事の確保を含め、見守り体制の充実強化に、どう取り組むか。

保健医療部長 県シルバー人材センター連合会と連携し、就業先の開拓やマッチングの促進に努める。地域包括支援センター※1が保健・医療・福祉サービス提供者や民生委員、ボランティアなどのネットワークを構築し見守りを支援しており、県も、地域実情に応じた助言や研修会による人材育成を行う。

(ほかに、公共交通の利便性向上と利用促進の取組、ストーカーと性犯罪の警察における取組なども質問)

むし歯予防と 歯周病予防のための取組の推進

議員 県民の口腔衛生状況の改善に向けて、どう取り組むのか。

保健医療部長 小学校でフッ化物洗口を実施するとともに、薬剤費などを補助することで就学前からの継続的な実施も推進する。また、市町村による成人や高齢者への歯周病検診の推進に向けた支援、大学や職域での歯科口腔保健意識の向上、定期歯科検診の必要性の啓発を行う。

(ほかに、公共交通の利便性向上と利用促進の取組、ストーカーと性犯罪の警察における取組なども質問)



フッ化物洗口の様子

「茨城版シルバーパス」の 創設などの支援策



議員 江尻 加那
日本共産党
水戸市・城里町選出

議員 県内のさまざまな公共交通に利用できる茨城版シルバーパスを創設するなど、高齢者の運賃割引補助の新たな取り組みは。

政策企画部長 県では、市町村コミュニティ交通の導入などを支援

議員 東海第二原発で火災などの問題が相次いでいるが、日本原電の管理体制をどう考えているのか。

知事 日本原電の幹部から、これまでの火災に対し、あまり大したことではないという意識が端々に感じられることがあり、そうした気の緩みが現場に伝わった結果、今回の人為的ミスによる火災につながったのではないかと考えたことから、会社組織として安全を軽視する文化を捨て去る必要があると社長に対し厳しく申し伝えた。

療養費の徴収撤回・見直し、学校給食の質の確保と無償化を目指す県の取組なども質問)



高萩市の呼出型最適経路バス「My Ride のるる」



議員 木村 喜一
いばらき自民党
小美玉市選出

茨城空港の利用促進及び 空港周辺の振興支援

議員 茨城空港が空の玄関口としてにぎわいの拠点となるよう、国内外の路線ネットワークの充実や旅客の利便性向上のための環境整備にどう取り組んでいくのか。

知事 茨城空港のあり方検討会で議論している将来ビジョン案の実現は、今後の県政発展にとって極めて重要である。路線の充実に向け、航空会社などへの働き掛けを積極的に行っていくとともに、小美玉市のまちづくり構想と連携し地域の振興にも全力で取り組む。

学校教育における能動的・主体的に行動する力の育成

議員 将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちに求められる、能動的・主体的に行動する力を身に付けるための県の取り組みは。

教育長 小中高校を通じ、自ら課題を見つけ主体的に問題を解決する探究的な学びを推進する。また、授業改善に向けた取り組みも重要であり、子どもたちの活動に寄り添い支援する授業の在り方の好事例などを各校に発信していく。

(ほかに、未来に継承される農業の実現、県管理道路における除草活動の組織化なども質問)

教育現場における包括的性教育※2の推進



茨城空港周辺の案
将来ビジョン



議員 うの のぶこ
市民ネットワーク
つくば市選出

東海第二原発の避難計画の検証

議員 茨城県原子力災害時の避難計画に係る検証委員会について、委員への女性追加や会議の公開など、委員会の在り方を見直すべきと考えるが、所見は。

知事 委員については、性別によらず、議論する内容に適した者を選任している。会議については、率直な意見交換実施のため非公開としているが、県民の大きな関心事項であるため、今後、議論の方向性が見えた際には公開について検討していきたい。

教育現場における包括的性教育※2の推進

議員 性犯罪の加害・被害を防ぐため、包括的性教育の考え方を踏まえた性教育が重要と考えるが、教育現場での推進状況は。



東海第二原子力発電所の外観

今定例会で可決された議案

議員など提出

◆条例の一部改正

○茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例の一部を改正する条例

○茨城県議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県議会情報公開条例の一部を改正する条例

○茨城県議会の保有する個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

◆意見書

○就学前の子どもに関する教育・保育における給食費の無償化を求める意見書

◆知事提出

◆令和7年度当初予算関係

○一般会計予算(1件)

○特別会計予算(13件)

○企業会計予算(6件)

◆令和6年度補正予算関係

○一般会計予算(1件)

○特別会計予算(13件)

○企業会計予算(6件)

◆条例の制定

○刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

◆条例の一部改正

○茨城県行政組織条例の一部を改正する条例

○職員勤務時間に関する条例及び職員の休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

○職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

○職員の旅費及び費用弁償に関する条例及び特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例

○茨城県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

◆人事

○公安委員会委員の任命について

◆報告

○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

◆その他

○包括外部監査契約の締結について

◆意見書

○就学前の子どもに関する教育・保育における給食費の無償化を求める意見書

◆知事提出

◆令和7年度当初予算関係

○一般会計予算(1件)

○特別会計予算(13件)

○企業会計予算(6件)

◆令和6年度補正予算関係

○一般会計予算(1件)

○特別会計予算(13件)

○企業会計予算(6件)

◆条例の制定

○刑法等の一部を改正する法律及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

※意見書の全文は議会ホームページでご覧いただけます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202504.pdf> / <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202504.pdf> / <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202504.pdf>



ことば ※1【地域包括支援センター】…市町村が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員などのチームアプローチにより必要な援助を行うことで、住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設。
※2【包括的性教育】…「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」で提唱された、人権尊重を基本とした性教育。「人間関係」、「性と生殖に関する健康」など8つのキーコンセプトについて、5～18歳までを4つの成長過程に分けて学んでいくもの。

一般質問(要旨)



金子 敏明 議員
無所属
かすみがうら市選出

インフレ局面に対応した「茨城県独自の入院基本料」の導入と医療提供体制の強化

議員 物価高などが十分に診療報酬に反映されない中、民間病院の経営状況をどう捉え、経済的な支援も含め、どう対応していくのか。
保健医療部長 医療機関は、医療費への価格転嫁が困難なため、経営状況の急変に直面するなど、大変厳しい状況と認識している。今回計上した補正予算案により、国費を財源とした医療機関に対する必要な支援を臨時的に実施することで、県内の医療提供体制を維持できるよう努めていく。

かすみがうら市内の国道6号及びスマートインターチェンジの整備
議員 国道6号千代田石岡バイパスの未事業化区間の新規事業化と（仮称）千代田PAスマートインターチェンジ整備の進捗は。

土木部長 未事業化区間については、早期事業化に向け国に働き掛けていく。スマートインターチェンジは、用地測量などを実施中である。国や市などと連携し、これから事業の促進に取り組んでいく。（ほかに、工業用水に関する新たな水需要への対応、災害警備活動の高度化と災害活動における警察官の安全確保なども質問）



医療提供体制の強化を



長田 麻美 議員
日本維新の会
牛久市選出

安定した食料供給を担うための水田農業の発展

議員 米の価格低下を望む一方、生産者に負担を強いる状況からの脱却には、所得の向上が重要である。温暖化の影響もある中で、水田農業をどう発展させていくのか。
農林水産部長 水田農業の発展に向け、経営の大規模化や特色ある米づくり、高収益作物の導入などを推進し、収益性の高い農業構造への転換を図るとともに、温暖化に対しては、「にじのきらめき」の増産や高温に強い新品種の開発を進め、儲かる農業を実現していく。



ハイズ ジョン 議員
茨城無所属の会
つくば市選出

外国人移住者への支援

議員 外国人移住者への支援と、地域住民の相互理解を深め、共に暮らしやすいコミュニティを構築するための取り組みは。

県民生活環境部長 外国人相談センターや母語により支援を行うサポーターの認定など、相談・支援体制の充実に努めている。また、国際交流団体、日本語教室関係者などを集めた研修での異文化理解の講演や好事例の共有などにより、外国人との共生意識の醸成を図っている。

外国人技能実習生の労働環境の改善と不法就労の防止

議員 技能実習生を含め外国人労働者の労働環境の改善や不法就労の防止にどう取り組むのか。

産業戦略部長 令和7年度から外国人適正雇用推進室を設置し、産業界・県警察本部・国との連携による適正雇用推進宣言制度の創設、適正雇用促進キャンペーンなど新たな取り組みにより、外国人が安心して就労・生活し、活躍できる労働環境づくりを推進していく。（ほかに、外国で取得した免許証の切替え手続き、メディアリテラシー教育なども質問）



IBARAKIネイティブコミュニケーションサポーター認定式の様子



高橋 勝則 議員
いばらき自民党
古河市選出

県西地域の地域資源を活用した新たな地域振興策

議員 県西地域の将来像の実現のため、地域振興にどう取り組むのか。地域資源の一つとしてのヤンキー文化※2活用も検討願いたい。

知事 地元食材を活用した食の観光資源の磨き上げや、花絶景を切り口とした観光コンテンツのプロモーション活動など地元の取り組みを支援し、定住促進と交流人口の拡大による賑わいの創出という県西地域の将来像の実現を目指す。提案の新たな地域振興策も差別化の点で有意義であり検討したい。

デスティネーションキャンペーン後の牛久市など県内市町村の観光振興

議員 茨城D C※1の成果を踏まえ、今後、牛久市など県内市町村の観光振興にどう取り組むのか。

営業戦略部長 茨城D Cを契機に造成された企画の磨き上げや販売力強化など、自走化・定着化に向けた専門家による伴走支援を行っていくほか、インバウンドにも訴求できる日本遺産や食文化などの観光資源を組み合わせ、ストーリー性を持たせて発信するなど、工夫ある情報発信を展開していく。（ほかに、金属盗対策の強化、中高生の自殺対策なども質問）



牛久市の観光資源である日本遺産の牛久シャトー

角膜移植をはじめとした臓器移植医療の普及促進

議員 角膜移植を含む臓器移植医療の普及促進にどう取り組むのか。

保健医療部長 SNSやイベントを通じて普及啓発、小中高校生への「いのちの学習会※3」などを行ってきたが、角膜移植を理解してもらえよう周知方法を工夫するとともに、茨城県アイバンクと連携し、普及啓発の機会を増やしていく。院内臓器移植コーディネーター※4設置の働き掛けなど、医療機関の体制整備の支援にも努める。（ほかに、古河市周辺地域の土木工事進捗と執行体制なども質問）



茨城の小京都・古河の「食」の観光資源・花桃アフタヌーンティー

議会人事

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

委員長		委員	
小川	一成	高橋	直子
副委員長		委員	
黒部	博英	松田	千春
田山	東湖	木村	喜一
常井	洋治	高崎	進
飯田	智男	八島	功男
水柿	一俊	二川	英俊
高橋	勝則	大足	光司
磯崎	達也	櫻井	信幸
長谷川	重幸	江尻	加那
金子	晃久	玉造	順一
村田	康成	金子	敏明

議員辞職
3月31日付で設楽詠美子議員（筑西市選挙区）が辞職されました。

「未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会」を設置しました

人口減少や物価高騰など、私たちを取り巻く社会情勢は一段と厳しさを増しており、県民が将来に希望を持てる、県政の新たな骨格を示すことがこれまでに求められています。このような中、県政運営の指針となる県総合計画の計画期間が令和7年度をもって終了することから、令和8年度を初年度とする新たな総合計画の策定が必要となっています。

そこで、茨城県議会基本条例第25条の趣旨を踏まえ、次期県総合計画の策定に当たり、今後特に求められる事項を議会として明確に打ち出すため、「新たな茨城づくりに向けた諸方策の在り方」について調査・検討を行う「未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会」を、3月24日の本会議において設置しました。構成する委員15名は次のとおりです。

委員長		委員	
半村	登	瀬谷	幸伸
副委員長		委員	
飯田	智男	村本	修司
海野	透	齋藤	英彰
伊沢	勝徳	中山	一生
村上	典男	長田	麻美
川口	政弥	玉造	順一
豊田	茂	秋	嘉一
小松崎	敏紀		

予 算 特 別 委 員 会

● 質疑者

3月18日(火)



こちらから▲
録画映像で
ご覧になれます。

長谷川 重幸 (いばらき自民党)

高安 博明 (国民民主党)

山本 美和 (公明党)

櫻井 信幸 (茨城無所属の会)

秋元 勇人 (いばらき自民党)

3月19日(水)

石塚 隼人 (いばらき自民党)

玉造 順一 (立憲いばらき)

うの のぶこ (市民ネットワーク)

小松崎 敏紀 (いばらき自民党)

飯田 智男 (いばらき自民党)

https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=171

長谷川重幸委員(自民) 気候変動への対応が1年遅れるだけで、農家は経営に大きなダメージを受ける。新たな組織をつくる以上、有機農業・気候変動対策推進室ではフル稼働で気候変動への対応に当たってもらいたい。具体的にどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 農業を取り巻く環境の急激な変化に迅速かつ的確に対応していく必要がある。新たな組織を中心に、高温下での栽培技術など生産現場ですぐに応用できる技術の開発から高温耐性や耐病性に優れた新品種の育成などの中長期的対応まで、さまざまな角度から総合的な対策を講じていく。

(ほかに、令和7年度当初予算編成方針、本県産業に係る人材の確保・育成なども質疑)

高安博明委員(国民) 常陸国ロングトレイルなどのアウトドアを通じた県

北地域への誘客促進や、地域経済への波及についてどう取り組んでいくのか。

政策企画部長 パンフレットやSNSなどでの情報発信やスタンプラリーの実施に加え、今後は、トレイル体験と付加価値の高い食事や宿泊プランを組み合わせた多彩なモデルプランを広く案内し、滞在型ツーリズムにつなげていく。また、当初予算で新たに提案しているサイクリングとトレイルランを組み合わせたサイバルレースにおいて、土産物などの消費喚起や参加者の長期滞在に向けた周知を図っていく。

(ほかに、認知症の人を支える家族への支援、ベンチャー企業の創出・育成と地元企業との連携なども質疑)

山本美和委員(公明) 教員の病気休職の増加を防ぐための取り組みは。また、補充教員確保の課題への認識と、教員配置数の見直しをどう考えるのか。

教育長 ストレスチェックの実施により教員の心理的な負担への気付きを促し、学校へも集団分析の結果を提供することで職場環境の改善につなげている。また、補充のための講師の確保が困難な状況を受け、広報や研修会の開催などに取り組みつつ、教員配置数の見直しについては、国へ定数改善の要望を引き続き行うとともに、働き方改革などにもしっかりと取り組んでいく。

(ほかに、県立高等学校の今後の募集学級数・募集定員の見込み、不登校児童生徒支援としてのメタバース登校の導入なども質疑)

櫻井信幸委員(茨無会) パワハラのない職場環境づくりと相談体制の充実にどう取り組んでいくのか。

総務部長 「ハラスメントの防止等に関する基本指針」を新たに制定し、全職員が認識すべき事項や厳正対処の姿

勢などを明示した。また、パワハラ防止研修の対象を課長補佐以上の職員に拡大した。相談体制は、従来の庁内の相談窓口に加え、弁護士やカウンセラーによる外部の相談窓口やオンラインの庁内相談フォームを整備したところである。ハラスメントのない、職員が安心して働きながら活力を持って仕事に臨める職場環境づくりに努めていく。

(ほかに、動物指導センターの施設環境改善、遺伝子組換え食品とゲノム編集食品なども質疑)

秋元勇人委員(自民) 過去の大規模地震における被災者の死因の多くは、家屋倒壊に起因するものである。住宅の耐震診断から耐震改修につながる課題に対し、今後どう取り組むのか。

土木部長 耐震改修につながらない主な要因は、経済的な負担や日常生活への影響であると認識している。今後、市町村と連携し、既存の天井・床を壊さずに補強できる低コスト工法の普及や、耐震改修の補助限度額の引き上げなどにより耐震化の促進を図るとともに、寝室など一部屋だけを耐震化し命を守る「耐震シェルター」の設置により県民の安心安全の確保を図っていく。

(ほかに、農地の基盤整備における円滑な実務、県立学校施設の老朽化対策における柔軟な対応なども質疑)

石塚隼人委員(自民) オンラインカジノと闇バイトの人口対策や取り締まり、相談体制整備にどう取り組むのか。

警察本部長 オンラインカジノは犯罪の自覚がなく利用されること、いわゆる闇バイトは違法性を認識せずに応募するケースがあることから、県警察公式SNSなどで、これらが犯罪であることを周知し、中高校生には学校と連携した非行防止教室などで注意喚起し

ている。闇バイト応募者には警察への相談を呼び掛け、保護対策なども推進している。これら犯罪への関与がみられる犯罪グループの実態解明を進め、その弱体化と解体を目指し取り組む。

(ほかに、県立高校の役割についての考え方、不法滞在外国人による犯罪の取り締まり強化なども質疑)

玉造順一委員(立憲) 水戸市下市地区の排水の流末となる新川では、住宅地の浸水被害が毎年のように発生するようになった。市の実施する防災・減災対策と並行して、早期に新川の改修を進めていくべきと考えるが、所見は。

土木部長 2014年度までに護岸整備や堆積土砂の撤去を実施し、一定の治水安全度を確保した。現在は、出水期前の点検や気象警報発令後のパトロールにより適切な維持管理に努めるとともに、洪水浸水想定区域図を公表するなど避難に必要な防災情報を提供している。今後も適切な維持管理を行うとともに、市との適切な役割分担の下、住民の安心・安全の確保に努める。

(ほかに、東海第二原発で頻発する火災、教員業務支援員の導入なども質疑)

うののぶこ委員(市民) 県の設置する障害者差別相談室では障害者が日常で抱く違和感や困り事までは把握できていないと考える。障害者に対する社会全体の理解を促進するため、当事者の声を積極的に集め、広く周知してほしいが、県の取り組みは。

福祉部長 障害者への理解促進のため、障害者週間における啓発、事業者や市町村職員向けの研修会などを実施してきた。今後は、県障害者差別解消支援協議会などで具体的な事例や意見を聴きながら、ホームページやSNSを活用し、障害者の困り事や対応上の留意

点を紹介するなど、広報啓発を強化していく。

(ほかに、気候危機対策の推進、環境過敏への合理的配慮なども質疑)

小松崎敏紀委員(自民) 昨年10月の茨城をたべよう収穫祭は、首都圏で初めての開催となったが、開催結果の総括と今後の事業展開は。

営業戦略部長 県産品のPR・販売のほか、バーチャルサイクリングなどのさまざまな企画を用意し、本県の魅力を首都圏にしっかりとPRできたが、来場者が2万7千人にとどまった。令和7年度は10月4日、5日に駒沢オリピック公園で開催を予定している。首都圏での周知を図り、なお一層の集客に努めるとともに、来場者はもとより出店者が満足し、本県の「食」の魅力を強力に発信できるイベントとすること、新たな誘客につなげていく。

(ほかに、学校給食の継続性、児童生徒の自殺対策なども質疑)

飯田智男委員(自民) 令和8年度以降に入庁する本県職員については、医師などに加え、事務職でも外国人を採用することが可能となった。今回、県職員採用の国籍要件を見直した狙いは。

知事 外国人向けの施策を効果的に推進するには、文化や習慣の違いに対する理解や配慮のほか、幅広いネットワークの活用も重要である。また、県内に在住する外国人のサポート、外国企業やインバウンドの誘致など、外国籍の方が対応することでより高い成果が期待できる業務も多い。このため、優秀な外国人人材を採用し、その語学力や知識・経験を活用するため、事務職について国籍要件を外したところである。

(ほかに、こども計画の策定、小学校におけるフッ化物洗口なども質疑)

常任委員会の審査から

総務企画委員会

財源確保や財政健全化に向けた取り組みは

企業誘致などの取り組みにより
税源確保に努める

問 生産年齢人口が急激に減少する中、財源の確保や財政健全化にどう取り組むのか。

答 人口減少社会では、生産性の向上に向けた取り組みが重要であるため、企業誘致の補助金を1件あたり最大50億円から100億円と大幅に拡充した。企業誘致にしっかりと取り組むことなどにより税源の確保に努めていく。

問 今回作成されたカスタマーハラスメント対応フローの詳細は。

答 職員を守るために、組織的に対応することを基本的な考え方としている。課長補佐などが担当者の対応状況に目を配り、苦慮している場合は対応を交代するなどにより負担軽減を図る。また、困難事例には弁護士への相談体制を整備しており、組織として適切に対応していく。

問 シン・いばらきメシ総選挙出品グルメについて、地域での現在の提供状況と普及に向けた今後の取り組みは。

答 現在、出品事業者での販売が多いが、一部地域では複数店舗で提供している。さまざまな場所で提供できるように、グルメの横展開支援や都内

のプロモーション、コンビニとのコラボレーションなどに取り組んでいく。

問 NPO法人ふるさと回帰支援センターの移住希望地ランキングでは、群馬県が1位、栃木県が3位、本県は20位圏外だったが、受け止めは。

答 当該他県ではセミナー回数の増加などが伸びにつながっていると聞いている。本県も同センターへの相談窓口の設置や、市町村と連携しさまざまなセミナーなどを実施しており、相談者の増加に向けてしっかりと取り組んでいく。

(ほかに、住民提案のインターネット受け付け状況、既存事業を踏まえた地域公共交通経営改善支援事業の展開なども質問)



東京で実施した移住セミナーの様子

防災環境産業委員会

インド人材の確保に係る取り組み状況は

現地の送出機関と県内企業の
パイプ構築を推進する

問 県はインド人材の確保に向けて、現地でノウハウを有する送出機関を発掘し、県内企業や業界団体とマッチングを行うとのことだが状況は。

答 在インド日本国大使館から紹介のあった2カ所の送出機関について、2月に県内企業による視察ツアーを行い、参加企業から高評価をいただいた。引き続き送出機関と県内企業の橋渡しを行い、両者のパイプ構築を推進していく。

問 ものづくり企業の海外の販路開拓は重要であると考えている。今年度のドイツ・タイでの取り組みの成果は。

答 初の海外展開となる企業を含め21社が参加し、940件のブース対応、125件の商談を行った結果、2月末時点で3件、720万円の成約につながった。引き続き、専門家の伴走支援を継続し、成約件数や金額の上積みを図る。

問 ナガエツルノゲイトウ駆除対策事業の内容は。また、防除技術確立のため研究機関との連携にどう取り組むのか。

答 著しく繁茂し実被害の発生が見込まれる箇所について、基準を設け、この基準に該当したものを駆除していく。ま

た、防除技術については、農研機構と連携し、駆除した残渣の減量化や薬剤の開発に向けた調査・研究に協力している。

問 2回目となるLPガス料金負担軽減支援事業について、全ての事業者が参加するようどう取り組むのか。

答 前回はシステム改修など体制が整わず、全事業者のうち約2割が参加しなかったが、全国で支援事業が行われ、事業者の体制も整ってきているものと考えている。県も業界団体と連携して、事業者へ周知し、参加を呼び掛ける。

(ほかに、新型コロナウイルス感染症関連貸付金・協力金の悪質事業者への対応、避難所環境改善に向けた備蓄なども質問)



令和6年11月開催の展示会における商談の様子(タイ・バンコク)

保健福祉医療委員会

県立中央病院と県立こども病院を統合し、どのような病院にするのか

がん、小児および周産期医療については県央・
県北の揺るがない拠点となる病院にしていきたい

問 県立中央病院と県立こども病院の統合が発表された。県民のためにどのような病院にしたいと考えているのか。

答 高度急性期医療を担うフックアップホスピタルの名に恥じないよう、がん医療、小児医療および周産期医療の三つの医療分野は少なくとも、県央・県北地域の揺るがない拠点となるよう努力したい。

問 少子化が進んでいる中、小児医療の重要性が増していると考えている。こども病院と中央病院との統合によって小児医療が後退することはないか。

答 こども病院は、県の小児医療における大変重要な役割を果たしている。こども病院が担ってきた高度医療を維持・強化し、より高度なレベルまで引き上げたい。今後、小児医療の提供機会が減少することとなるからこそ、統合により効率的な病院運営を行い、高度な小児医療を守っていききたい。

問 救急搬送時に搬送対象者の臓器提供の意思表示を確認する取り組みを進めてもらいたい。が、所見は。

答 救急現場での確認には課題もあるが、貴重な意思表示

を把握して対応することが、ドナー※1の意思を尊重し、レシピエント※2の命をつなぐことにつながる。課題を解決しながら、進めていきたい。

問 子どものためのさまざまな施策が盛り込まれた茨城県こども計画の検討が進んでいる。作っただけで終わりでなく、きちんと達成してもらいたい。が、どう進めるのか。

答 これからが大切だと認識している。教育・福祉・医療・労働など幅広い分野に関わる計画であるため、全庁的な連携を強化しながら、進捗管理をしつつ進めていきたい。(ほかに、救急搬送における選定療養費の徴収、新型コロナウイルススワクチン接種後の健康被害救済制度なども質問)



再編が予定されている県立中央病院

営業戦略農林水産委員会

有機農業・気候変動対策室の役割は

有機農業の推進および

気候変動対策の旗振り役

問 令和7年度から農業技術課内に新たに設置される有機農業・気候変動対策推進室の役割と具体の取り組みは。

答 有機農業および気候変動対策を推進する旗振り役として、有機農業に係る産地づくりや栽培技術の確立・普及に加え、高温などの気候変動に適応した新品種の導入や、農業者への技術指導・経営指導などに取り組んでいく。

問 「いばらきの養殖産業」創出育成事業で取り組んでいるエビ養殖技術の開発状況と商業化の見通しは。

答 ボタンエビについて、実験レベルで商業サイズまでの育成に目途が立ってきたため、令和7年度から商業的なモデルを作るための実証を開始する。養殖技術と採算性を検証した上で、秘密保持を条件に民間事業者と連携し、商業化していきたい。

問 茨城空港将来ビジョン(案)には、航空自衛隊百里基地との共用空港との認識を県民と共有した上で、安全性の確保や北米・欧州便の誘致など国際化の取り組みを盛り込んでほしいが、所見は。

答 防衛省や国交省と連携し、



養殖技術開発が進むボタンエビ

安全確保に取り組んでいく旨を示していく。また、欧米への就航を目指すとしており、国際化に向け、航空会社などへのプロモーション活動に取り組んでいく。

問 茨城ネクストツーリズム事業におけるプロモーション業務の概要と狙いは。

答 茨城DCの次のプロモーション展開として、ブランドイングサイトの構築やメディア広告、タイアップ企画の展開により本県魅力を強力に売り込み、旅の目的地としてのIBARAKIブランドの確立を目指す。

(ほかに、担い手確保に向けた県立農業大学の取り組み、輸出に取り組む事業者への支援なども質問)

土木企業立地推進委員会

埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえた今後の対応は

適切な点検を行い、迅速な対応が

図れるよう努めていく

問 埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえ、下水道に起因する同様の事故に備えた体制づくりや今後の対応は。

答 事故を受けて、迅速な対応を図るための初動体制・連絡体制の再確認や、緊急対応に必要な資機材の備蓄状況などの確認を行った。今後も適切な点検を行っていくとともに、大規模な陥没事故が発生した場合にも迅速な対応が図れるよう努めていく。

問 偕楽園は地形的に傾斜が多く、園路に砂利も敷かれているなど、高齢者や車いすの利用者にとって散策しにくい箇所があると感じる。今後、バリアフリー対策にどう取り組むのか。

答 今年の梅まつりから、車いすの利用者に対する優先園路の設定や休憩スポットの設置を行った。今後は、園路の砂利の流動対策などの試験的な導入やスロープ化の検討、バリアフリーマップのSNSによる周知、歩行が不自由な方にとって分かりやすい現地案内の強化などに取り組む。

問 グローバル企業のフラッグシップ拠点の誘致に向けた補助事業の補助要件や対象と



下水道管の緊急点検の様子

なる産業用地は。

答 補助要件は、土地取得面積10畝以上などを想定しており、対象となる産業用地は、10畝以上の県有地のほか市町村有地などとする。

問 水道事業における市町村などとの広域的な経営統合を進めるに当たって、不参加を表明した市町村に対し、どのように連携していくのか。

答 薬品などの共同購入や検針などの委託業務の共同発注による連携が考えられる。将来、お互いにメリットが見込める場合には積極的な連携を検討していきたい。

(ほかに、産業立地セミナーの参加企業の業種と今後の誘致方策、街路樹の設置基準と適切な維持管理なども質問)

文教警察委員会

生徒支援・いじめ対策推進室の設置に至った背景は

学校種をまたぐ事案が増加したため、

その対応を図っていく

問 これまで学校種ごとに対応していた生徒支援やいじめ対策の所管が統合されるが、組織改正に至った背景は。

答 学校種をまたぐ事案が増加しており、従来の体制では統一的な指導などに支障を生じることがあった。今回の改正により、生徒支援やいじめ事案などに一元的に対応し、より機動的・横断的な施策展開を図っていく。

問 私立高校の実質無償化により、学費が安いという県立高校の優位性が薄れてきている中、どのように県立高校の魅力づくりに取り組んでいくのか。

答 県内各校に対し、成果を上げている中高一貫校の取り組みなどを横展開していく。また、高校の所在する自治体や地元企業、大学との連携に注力することで、魅力ある学校づくりに取り組んでいく。

問 移動式オービスが従来の2台に加え、さらに2台増設されるが、これまでの成果と今後の方針は。

答 移動式オービスによる取り締まりの成果として登下校中の小学生被害の交通事故や幅員5・5未満道路での交



通学時間帯における移動式オービスによる取り締まりの様子

通事故減少が認められた。今後、住民の要望、増設による効果検証などを踏まえ、効果的な運用に努めていく。

問 ケーブル盗難防止に有効な対策について県警本部が情報発信をすることで、太陽光発電所側の対策強化を図ることが必要と考えるが、所見は。

答 盗難防止に有効な対策の重要性について、ホームページやSNSによる情報発信を行うとともに、経済産業省資源エネルギー庁を通じて太陽光発電事業者への情報提供を進めていく。

(ほかに、異文化に対する理解や身近に触れる教育の推進、登下校時の交通事故発生状況とヘルメット着用普及啓発なども質問)

県議会のしくみ

県議会の役割

県民の代表者による話し合いの場

私たちの住む茨城県を、より良い郷土にしていくためには、みんなで話し合い、そして決めたことを実行していかなければなりません。しかし、県民全員が集まって相談することは、実際には困難です。

そこで、選挙によって代表者を選び、県民のために働いてもらう、という議会政治の方法がとられ、県議会が設けられています。

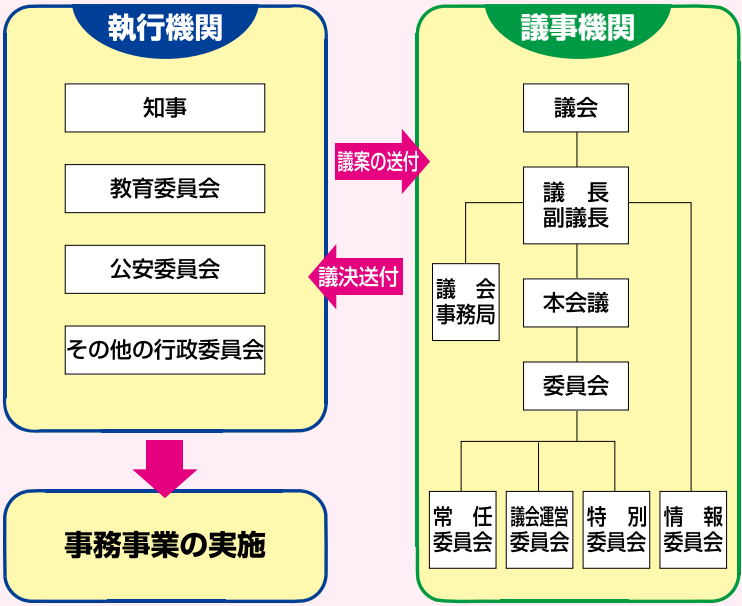
県議会は、県民から選ばれた議員によって構成され、県民全体を幸福にするための方法について、話し合っていて決めています。なお、このような相談・決定の場を、議事機関といいます。

知事などの仕事を検査・調査

県議会で決められたことは、知事部局・教育委員会・公安委員会などにおいて、実行に移されます。決められたことに基づき実際に仕事をする、これらのところを、執行機関といいます。

執行機関の仕事が適正なものか、決められた通りに進められているかどうかについて、県議会は検査・調査をする権限を持ち、事務の内容について確認しています。県議会（議事機関）と執行機関は、それぞれ独立した機関として対等の立場にあり、互いに協力して県政を運営しているところから、車の両輪に例えられています。

2本の柱（議事機関と執行機関）



議案の審議

本会議、委員会、そして再度本会議へ

議員または知事から提出された議案は本会議にかけられます。この本会議は全議員で行われます。ここで議案その他必要な事柄全てについて審議しますが、議案は複雑なもの、専門的なものなどが多く、簡単には決められません。

そこで、より詳しく審査するために専門の委員会が設けられています。この委員会で審査された後※、さらに本会議で再度審議されて採決されます。※付託された議案のほか、委員会での審査の結果、議案を提出することもあります。

議案についての質疑・県政についての質問

議員は提出された議案について、疑問や不明確な点をただすために、「質疑」を行います。また、県政一般について、執行機関がどう取り組んでいるのか、今後どのように対応するのかについて、「質問」を行います。

本会議では、質問・質疑が一括してなされますが、議員個人の立場で行うのを「一般質問」、会派を代表して行うのを「代表質問」といいます。

採決前に討論ができます

議員が議案に賛成か、反対かの意見を述べる機会が採決前に設けられます。これが討論です。

そして、採決へ

徹底的に審議された後、いよいよ採決の瞬間を

迎えます。議案および請願の採決は、普通は挙手によって賛成または反対を表す挙手採決がとられますが、その他の方法による場合もあります。なお、会期中に審議不十分で採決できないときは、次の定例会まで所管の委員会で継続審査されます。

可決した議案について

県議会で議決した予算、条例をはじめとする会議の結果は、知事に送付されます。知事などの執行機関は、県議会で決定したことに基づいて、実際の仕事を進めていきます。また、県議会では、県だけでは解決できない問題については、国をはじめとする行政機関に意見書を提出して協力を求めたり、県議会の意思を明確にするため、決議を行ったりしています。

県議会の取り組み

茨城県議会では、県民の皆さまに議会の活動をより身近に感じていただくとともに、若い世代をはじめ、多くの方に議会への関心を高めていただくため、さまざまな取り組みを行っております。

令和 6 年度の例

- ・いばらきハイスクール議会（日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会主催）への協力
- ・茨城キリスト教大学での出前委員会の開催
- ・高校生の議会傍聴のクラス単位での受け入れ
- ・休日議会の開催
- ・議会広報ポスターの図案公募で入選した高校生を休日議会の本会議傍聴に招待し、正副議長と意見交換
- ・交通政策・物流問題調査特別委員会に連携大学の学生を招いて意見交換を行い、声を提言に反映
- ・傍聴される方など向けの託児サービスの実施

今後も、皆さまと共に開かれた議会を目指してまいります。



いばらきハイスクール議会 2024



茨城キリスト教大学での出前委員会



託児サービス

今回の、令和 7 年第 2 回定例会は、6 月 3 日から 17 日までの 15 日間の会期日程で開催される予定です。

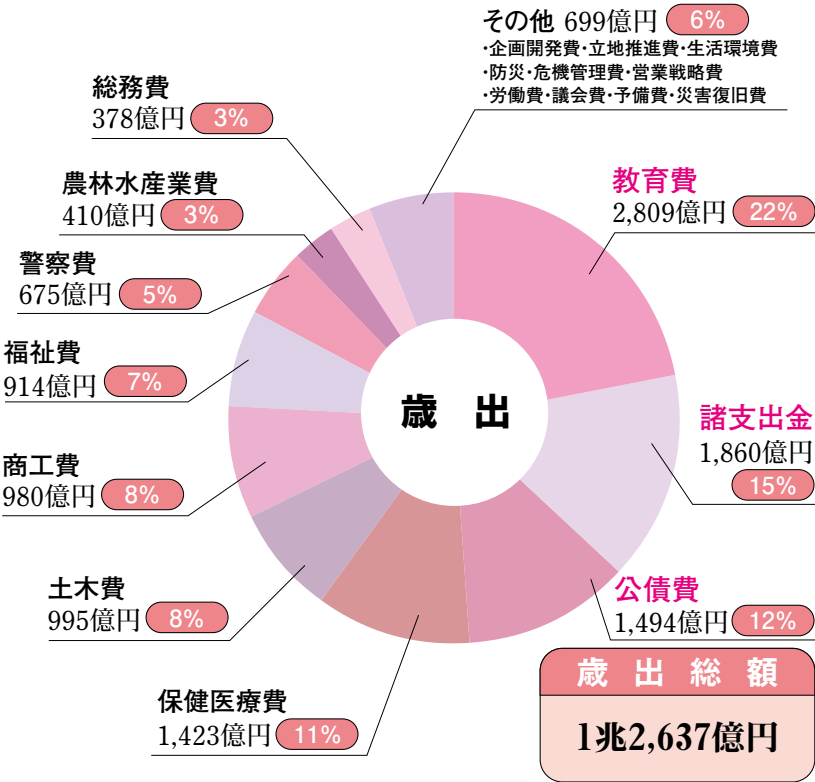
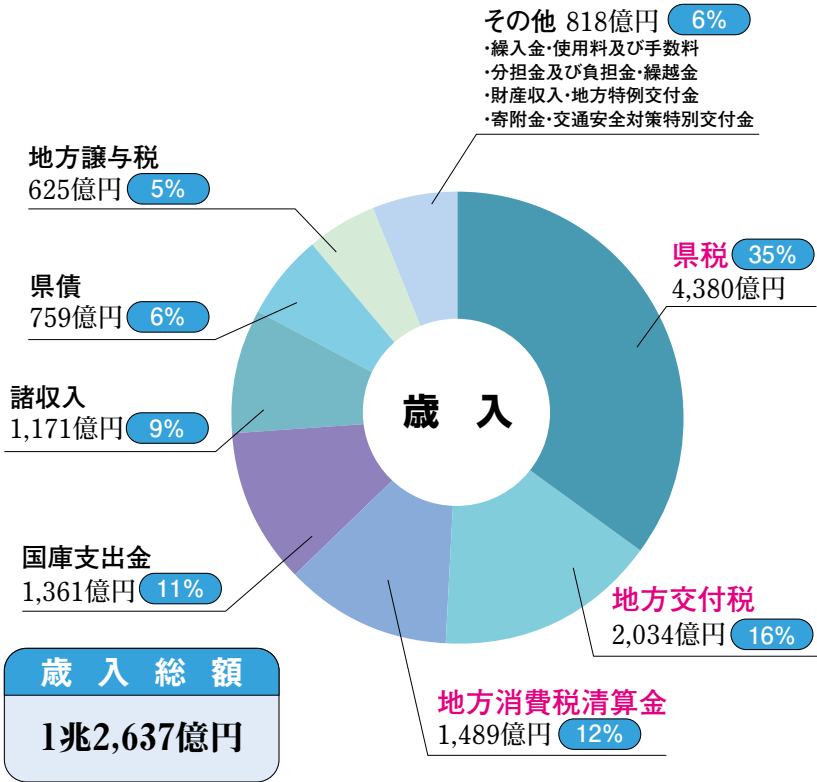
月日	曜	議 事 予 定
6. 3	火	議会運営委員会 本会議（開会、知事提出議案説明）
4	水	休会（議案調査）
5	木	休会（議案調査）
6	金	議会運営委員会 本会議（一般質問・質疑）
7	土	本会議（一般質問・質疑） ※休日議会
8	日	
9	月	本会議 （一般質問・質疑、議案常任委員会付託）
10	火	休会（委員会審査準備）
11	水	休会（常任委員会）
12	木	休会（常任委員会）
13	金	休会 （未来を拓く新たな茨城づくり調査特別委員会）
14	土	
15	日	
16	月	休会（議事整理）
17	火	議会運営委員会 本会議（委員長報告、採決、閉会）

「休日議会」を開催します

県民の皆さまの政治への参画を推進するため、第 2 回定例会において、6 月 7 日（土）に「休日議会（13 時開会）」を開催いたします。

【傍聴の問合せ先】議会事務局議事課
☎ 0 2 9 - 3 0 1 - 5 6 3 4

令和7年度一般会計予算の内訳



主 な 事 業

① 経済の好循環に向けた緊急対策

- 物価上昇を上回る賃上げに向けて、賃上げに取り組む事業者への支援、価格転嫁を促すための啓発を実施 (8億6,700万円)
- 保育、介護、障害福祉施設職員の処遇改善 (R7当初予算15億6,600万円、R6最終補正予算22億4,100万円)
- 経営改善に取り組む交通事業者の業務効率化などの取り組みを支援 (3億8,800万円)
- 物価高対策として、価格転嫁が困難な医療・福祉施設や学校への支援、LPガス料金の軽減などを実施 (R6最終補正予算26億7,000万円)

② 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- グローバル企業のフラッグシップ(主力)拠点の誘致に向けて、最大100億円に補助メニューを拡充 (56億400万円)
- 優秀な外国人材を確保するため、インドの大学と連携した日本語講座の運営などを実施 (1億9,200万円)

③ 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 耐震基準を満たさない木造住宅の耐震化への支援 (1億500万円)
- 流域治水対策のための田んぼダムの整備を促進 (5億9,800万円)
- 歯と口腔の健康づくりのため、就学前施設や小学校におけるフッ化物洗口の取り組みを支援 (5,200万円)

④ 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 保険適用外となる先進医療を用いた不妊治療への支援 (1,800万円)
- 県立中央看護専門学校の4年制化や県立産業技術短期大学校(IT短大)の大学校化により、専門性の高い人材を育成 (18億1,300万円)
- (仮称)神栖特別支援学校を整備し、児童生徒の長距離通学を解消 (13億3,000万円)

⑤ 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 県北の地域資源を活かした新たなアウトドアスポーツイベントの開催などにより、国内外からの誘客を促進 (1億5,600万円)
- 海外販路開拓にチャレンジするものづくり企業を伴走支援 (1億1,900万円)

令和6年度2月(最終) 補正予算案が可決	
令和6年度予算の執行による事業費の確定に加え、国の補正予算に関連した補正、今後の財政需要を踏まえた財政調整基金への積み立てなどを計上した令和6年度2月(最終)補正予算案が可決されました。 (約839億5300万円の増)	
補正の主な内容	
(歳入)	(歳出)
・県税(地方消費税の増など)	①国の補正予算関連分の事業など
208億3200万円	●新物価高対策関連事業(医療機関や福祉施設、学校への支援、LPガス料金の負担軽減など)
・地方交付税(国の補正予算への対応に伴う増など)	26億7000万円
163億4900万円	●新医療施設等経営強化緊急支援事業(生産性向上を図る医療機関や産科・小児科などに対する補助)
・国庫支出金(国の補正予算への対応に伴う増など)	17億2800万円
144億2100万円	・施設型給付費負担金(保育施設が行う保育士等の処遇改善などに対する負担金)
・諸収入(中小企業融資資金貸付金の減など)	14億6200万円
127億2900万円の減	●新介護人材確保・職場環境改善等事業(介護施設が行う介護職員等の処遇改善などに対する補助)
	15億8700万円
	●新障害福祉人材確保・職場環境改善等事業(障害福祉サービス事業所が行う障害福祉職員等の処遇改善などに対する補助)
	6億5400万円
	・公共事業
	212億1400万円
	など
	②今後の財政需要を踏まえた対応
	・退職手当基金積立金(定年延長に伴う退職手当の平準化のための積み立て)
	58億2100万円
	・財政調整基金積立金(令和7年度当初予算での県債発行抑制などに活用するための積み増し)
	243億5500万円

常任委員会の構成

令和 7 年 4 月 1 日現在

定数62人
(現員58人)

◎印は委員長／○印は副委員長

丸数字は期数 ()内は所属会派

総務企画委員会



◎飯田 智男⁴
(いばらき自民党)



○石塚 隼人²
(いばらき自民党)



田山 東湖⁸
(いばらき自民党)



川津 隆⁷
(いばらき自民党)



川口 政弥⁴
(いばらき自民党)



木村 喜一¹
(いばらき自民党)



横田 透¹
(いばらき自民党)



八島 功男⁴
(公明党)



二川 英俊³
(国民民主党)



中山 一生²
(茨城無所属の会)

総務企画委員会は、11人（現員10人）で、税財政、市町村振興、交通体系整備、地域振興、情報化などに関することを調査、審査します。

防災
環境産業
委員会



◎水柿 一俊³
(いばらき自民党)



○坂本 隆司²
(いばらき自民党)



白田 信夫⁸
(いばらき自民党)



下路健次郎⁴
(いばらき自民党)



杉田 千春¹
(いばらき自民党)



瀬谷 幸伸¹
(いばらき自民党)



山本 美和¹
(公明党)



大足 光司¹
(国民民主党)



江尻 加那³
(日本共産党)

防災環境産業委員会は、10人（現員 9 人）で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、労働などに関することを調査、審査します。

保健
福祉医療
委員会



◎長谷川重幸³
(いばらき自民党)



○小松崎敏紀²
(いばらき自民党)



葉梨 衛⁹
(いばらき自民党)



常井 洋治⁷
(いばらき自民党)



戸井田和之⁵
(いばらき自民党)



木本信太郎¹
(いばらき自民党)



村本 修司²
(公明党)



高安 博明²
(国民民主党)



うののぶこ¹
(市民ネットワーク)



秋山 政明¹
(無所属)

保健福祉医療委員会は、11人（現員10人）で、保健、福祉、医療などに関することを調査、審査します。

営業戦略
農林水産
委員会



◎金子 晃久³
(いばらき自民党)



○秋元 勇人¹
(いばらき自民党)



海野 透¹⁰
(いばらき自民党)



細谷 典幸⁸
(いばらき自民党)



伊沢 勝徳⁶
(いばらき自民党)



石井 邦一⁵
(いばらき自民党)



黒部 博英⁴
(いばらき自民党)



高崎 進⁵
(公明党)



ヘイズジョン¹
(茨城無所属の会)



長田 麻美¹
(日本維新の会)

営業戦略農林水産委員会は、10人で、観光、県産品販路拡大、農林水産業などに関することを調査、審査します。

土木企業
立地推進
委員会



◎高橋 勝則³
(いばらき自民党)



○豊田 茂²
(いばらき自民党)



飯塚 秋男⁸
(いばらき自民党)



舘 静馬⁵
(いばらき自民党)



村上 典男⁵
(いばらき自民党)



鈴木 将⁴
(いばらき自民党)



小泉 周司¹
(いばらき自民党)



櫻井 信幸¹
(茨城無所属の会)



玉造 順一²
(無所属)



秋 嘉一¹
(無所属)

土木企業立地推進委員会は、10人で、道路、河川、港湾、住宅、公園、産業立地、上下水道や工業用水道事業などに関することを調査、審査します。

文教警察
委員会



◎磯崎 達也³
(いばらき自民党)



○村田 康成²
(いばらき自民党)



半村 登⁸
(いばらき自民党)



小川 一成⁸
(いばらき自民党)



西野 一⁵
(いばらき自民党)



高橋 直子²
(いばらき自民党)



森田 卓歩¹
(いばらき自民党)



齋藤 英彰⁴
(国民民主党)



金子 敏明¹
(無所属)

文教警察委員会は、10人（現員 9 人）で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察などに関することを調査、審査します。